

(科目コード : 2000620003MM)

【改訂】第26版(2014-03-13)

【科目】政治・経済

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修 【学期・単位数】通年・2単位

【対象学科・専攻】機械 3年

【担当教員】前期：石関 正典  
後期：石関 正典

### 【授業目標】

広い視野からの観察を通して、社会の仕組みを理解し、現実に行っている様々な問題を多面的に考察する力を身につけることができる。

人生を主体的に生きていくための判断基準を構築し、自分の意見を表明するための基礎的な知識や分析手法を習得できる。

選挙における投票や企業等における経済活動、裁判員としての裁判への参加など、今後国民として経験する重要な事柄・場面において、自ら考え、判断し、行動するために必要な知識や能力を身につけることができる。

新聞記事等を活用し、適宜、時事問題に触れることで、現代社会の抱える諸問題についての知識・理解を深めることができる。

### 【教育方針・授業概要】

・本科目の総授業時間数は45時間である。

・授業は講義形式で進める。前期は現代の政治を、後期は現代の経済を学習する。

・政治分野では、民主政治の基本原則、日本国憲法(国民権、基本的人権、平和主義)、日本の政治機構(国会の仕組みと機能、内閣・行政の仕組みと機能、裁判所の仕組みと機能)、政党と政治について取り上げる。

・経済分野では、経済社会の変容、現代経済の仕組み(現代の企業、市場経済、経済成長)、経済活動と福祉の向上、国際経済について取り上げる。

### 【教科書・教材・参考書等】

資料集：『最新図説 政経』：浜島書店

### 【成績評価方法】

[前期]中間試験：20%、期末試験：20%、レポート：10%

[後期]中間試験：20%、期末試験：20%、レポート：10%

### 【本校の学習・教育目標】

(A-1) 人文社会系の科目の学習を通じて、人間文化と社会生活について理解する。

### 【授業計画】(政治・経済)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1回	ガイダンス	授業の概要、政治社会の特質		
2～4回	民主政治の基本原則	民主政治の意味、民主政治の基本原則とその発展		
5～7回	日本国憲法と平和主義	日本国憲法の成立、わが国の平和主義、自衛隊をめぐる諸問題		
8回	前期中間試験			
9～11回	日本国憲法と基本的人権	基本的人権の性格、個人の尊重と法の下での平等、自由権の基本権、社会権の基本権、請求権、新しい人権の展開		
12～14回	日本の政治機構	国会の仕組みと機能、内閣・行政の仕組みと機能、裁判所の仕組みと機能		
15～16回	政党と政治	行政機能の拡大と民主化、政党と選挙、世論と国民の政治参加		
17～19回	経済社会の変容	経済社会の成り立ちと発達、資本主義経済の発達と変容、社会主義経済の形成と変容		
20～22回	現代経済の仕組み(1)	市場経済、現代の企業、国民所得と経済成長		
23回	後期中間試験			
24～26回	現代経済の仕組み(2)	貨幣と金融、銀行のはたらき、財政と財政政策、租税の種類		
27～28回	日本の経済成長と課題	日本の経済成長、労働問題、社会保障		
29～30回	国際経済	国際経済と貿易、地域統合の動きと役割		